



年頭のごあいさつ

「ビジネス新時代、変革の備えを！」

加古川商工会議所
会頭 釜谷 和明

令和3年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は何と言いましても新型コロナウイルス感染症への対応に追われた一年でした。

都市のロックダウンなど世界中が大混乱に見舞われ、わが国でも全国に緊急事態宣言を発出、不要不急の外出自粛を始め、店舗等の営業制限やテレワークの推進、さらには学校休校等の措置がとられるなど、経済活動が停滞する事態となりました。企業は業種・規模を問わず深刻な打撃を受け、政府の支援策等を活用しつつ事業継続や雇用維持のため必死に耐えているのが現状です。夏以降、一部には持ち直しの動きがみられますが、未だに感染の収束が見えず、先行き不透明な状態が続いております。

本年は、延期されていた東京オリンピックをはじめ、昨年実施できなかったスポーツ・文化・商業イベントなども、感染症対策を講じつつ続々と開催されると思われまます。街の賑わい回帰、消費・経済活動の活発化が進展し、継続的かつ適切な経済対策との相乗効果で、景気急回復に繋がる好循環のシナリオを期待します。

当地域では、東播磨道の北工区、国道2号線を中心市街地における4車線整備および加古川橋の架替、相生橋改良工事、加古川バイパス北側の新架橋といった都市の基盤インフラ整備事業が着々と進み、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が整備されつつあります。当商工会議所としましても、これらの事業推進と播磨臨海地域道路の早期実現のため引き続き積極的に支援、要望を行って参ります。

また、大企業を中心にAI（人工知能）、DX（デジタル変革）など革新技術が急速に進展する中、地域の中小企業においてもデジタル化推進による生産性の向上や人材不足への対応などに迫られていますが、一方では地方からでも躍進できるチャンスとも言えます。

当所としましてもニーズに合った各種施策の実施や相談支援事業を行ってまいるとともに、関係機関とも連携を図り、各種公的支援策の活用や情報提供を行い、中小企業のポストコロナ時代に向けた経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に対応、支援してまいりたいと考えております。

本年は丑年。丑年は「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年になるといわれています。コロナ禍を乗り越えた先に輝かしい未来が待っていることを願います。

皆様にとりましても、よい年でありますようご祈念申しあげまして、年頭のごあいさつといたします。